

# アンサンブル ディマンシュ

## 第 87 回演奏会

2020 年 9 月 13 日(日)

府中の森芸術劇場 ウィーンホール



### 【プログラム】

J.S.バッハ 管弦楽組曲第 3 番ニ長調 BWV1068

♪ 休憩 10 分 ♪

ファランク(Louise Farrenc) 交響曲第 3 番ト短調 Op36

♪ 休憩 15 分 ♪

ベートーヴェン 交響曲第 4 番変ロ長調 Op.60



## 【プロフィール】

指揮 平川 範幸



1987年福岡県出身。福岡教育大学音楽科卒業。

上野学園大学研究生〈指揮専門〉にて下野竜也、大河内雅彦の各氏に師事。桐朋学園大学オープンカレッジにて、黒岩英臣氏に師事。また、パーヴォ・ヤルヴィ、沼尻竜典の各氏の指揮講習会を受講。

これまでに、音楽理論を中原達彦氏に、ピアノを田中美江氏に師事。

2012年度、新日鉄住金文化財団指揮研究員として、紀尾井シンフォニエッタ東京の下で活動する。

その後、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員として、宮本文昭、飯守泰次郎の各氏の下で研鑽を積む。

これまでに、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪交響楽団、千葉交響楽団（ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉）、浜松フィルハーモニー管弦楽団、東京混声合唱団などを指揮する。

また、各地のジュニアオーケストラや学生オーケストラ、吹奏楽団、合唱団を指揮する。

2016年度より、仙台ジュニアオーケストラ音楽監督を務める。



## 【曲目紹介】

### ◆バッハ:管弦楽組曲第3番二長調 BWV1068

～中の一曲が有名過ぎて全曲演奏される機会が少ない曲～

近年テレビドラマの主題にも使われた有名な「G線上のアリア」は、この組曲の第2曲「アリア」の旋律をヴァイオリンのG線（一番低い弦）1本で演奏するように編曲されたものです。弦楽合奏で演奏される原曲も、演奏会のアンコールや慶弔事、テレビCMなどでたびたび聴かれます。それに比べるとこの組曲全体がアマオケの演奏会で取り上げられる機会は少ないです。管楽器がオーボエ2本とトランペット3本という特異な編成で、しかもそのトランペットが技術的に難しいことなどがその要因でしょうか。

バッハ(1685-1750)の管弦楽組曲は序曲と舞曲から成る組曲で、4曲が残されています。作曲された時期は1708～1723年頃と幅広く、特定されていません。元々はオーボエ1本～3本、ファゴット(一部のみ)と弦楽合奏の曲として書かれ、1723年以降にトランペットやティンパニが書き加えられたという説もあります。バッハ自身は、この一連の曲が当時の「組曲(Suite)」の定義に当てはまらないことから、ドイツ語で「序曲(Ouverture)」という名称を付けています。当時の序曲は緩と急を組み合わせた3つの部分(楽章)から成っていたので、「楽章が集まった組曲≡シンフォニア」という意味で用いたのでしょう。なお、組曲中の序曲はフランス語の「Ouverture」で、それとは区別しているのかもしれませんが。

1. 序曲 (Ouverture) 緩－急－緩の3部で構成されるフランス様式の序曲。

2. アリア (Air) 弦楽のみで歌われる厳粛なアリア。アリア(フランス語でエール)はオペラなどの声楽曲における独唱の歌のこと。

3. **ガヴオット (Gavotte)** フランスの地方の踊りから派生した中庸なテンポの 2 拍子系の舞曲。ガヴオット I と II があり、I-II-I の順で演奏。
4. **ブーレ (Bourée)** フランス中部発祥のテンポの速い 2 拍子の舞曲。
5. **ジグ (Gigue)** 17 世紀にフランスに伝わり周辺諸国に広まったテンポの速い複合 3 拍子 (6/8 拍子など) の舞曲。イギリスやアイルランドの民俗舞曲ジグ (Jig) がルーツとも。

#### ◆ファランク:交響曲第3番ト短調 Op.36

##### ～日本では知られていないフランスの女性作曲家の傑作～

日本ではあまり知られていませんが、ルイーゼ・ファランク (Louise Farrenc, 1804-1875) はフランスの女性作曲家です。ベートーヴェンが「英雄交響曲」を完成させた年、すなわちフランスではナポレオンが皇帝に即位した 1804 年にパリで生まれました。ピアニストでもあり、その作品のほとんどがピアノ曲ですが、交響曲も 3 曲残しています。女性が職業音楽家として活動するのが困難な時代に、パリ音楽院で女性として初めて教授に就任し、管弦楽作品が認められてフランス学士院から賞を授与されるなどの功績を残しています。

交響曲第 3 番は 1849 年にパリで初演されていますが、好評を博し、ファランクはこれを機に作曲家としての地位を確立したと伝えられています。ロマン派らしく斬新で優美なメロディに溢れ、作風はフランス風というよりは同時代の作曲家メンデルスゾーンやシューマンを思わせます。二管編成ですが、ティンパニがあつてトランペットがない珍しい編成です。

当団は、日本ではあまり知られていない作曲家の埋もれた交響曲を積極的に取り上げてきました。この曲は、第 74 回演奏会 (2014.2) で演奏していますが、おそらくそれが本邦初演と思われます。

##### 第 1 楽章 Adagio-Allegro ト短調 3/4 拍子

たった 7 小節のゆっくりとした暗い序奏にヘミオラ (3 拍子の中で 2 拍子のように進行する音型) を多用した速い経過部が続き、一気に盛り上がると主部へ突入します。シューマンの香りがする楽章です。

##### 第 2 楽章 Adagio cantabile 変ホ長調 4/4 拍子

ホルンの和音に導かれてクラリネットが牧歌的な主題を歌います。メンデルスゾーンの香りのする楽章です。

##### 第 3 楽章 Scherzo, Vivace ト短調 3/4 拍子

目まぐるしいスケルツォ主題の裏に英雄交響曲のスケルツォを思わせるような四分音符の連続する伴奏が流れます。トリオでは、長閑な旋律の裏で奏でるあわただしいヴァイオリンのピチカートやクラリネットの分散和音が印象的です。

##### 第 4 楽章 Allegro ト短調 2/2 拍子

運命交響曲の動機を反転させたような「ターンタタタ」という動機を繰り返す短い序奏に始まります。この動機が楽章全体を支配しています。

#### ◆ベートーヴェン:交響曲第 4 番変ロ長調 Op.60

##### ～「英雄」と「運命」の二つの傑作に挟まれて目立たない交響曲～

ベートーヴェン (1770-1827) は、1804 年に交響曲第 3 番「英雄」を完成させると、第 5 番「運命」のスケッチを書き始めますが、それを一時中断して 1806 年には第 4 番を一気に書き上げます。この第 4 番は、シューマンが「2 人の神話の巨人の間に挟まれた乙女」と例えたと言われているように、「英雄」と「運命」の二つの山の谷間に当たる曲で、両者に比べると特徴のない地味な曲として取り扱われています。しかしその一方で、元気澁刺な旋律や優雅で美しい旋律などに溢れ、コンパクトにまとまった名曲との評判もあり、隠れファンが多いのも確かです。

楽器編成でフルートが 1 本であること、技術面で特に第 4 楽章が難しいことが特徴です。とりわけファゴットには技術的に非常に難しいソロがあるため、一部では「ファゴット奏者泣かせの曲」と囁かれています。

### 第1楽章 Adagio -Allegro vivace 変口長調 2/2 拍子

暗い序奏と軽快な主部から成っています。序奏冒頭の3度下降を繰り返す音形は、「運命」の主題の音形と共通性があります。この曲は「運命」の実験台として作られたのかもしれませんが。

### 第2楽章 Adagio 変ホ長調 3/4 拍子

特徴的な符点リズムに先導されて、息の長い優雅な旋律が歌われます。楽章の最後にティンパニがソロで冒頭のリズムを刻みますが、これは新しい試みで、同年に作曲されたヴァイオリン協奏曲との共通性を感じます。

### 第3楽章 Allegro vivace -Un poco meno allegro 変口長調 3/4 拍子

「スケルツォ」とは標記されていませんが、繰り返し現れるシンコペーションやヘミオラが特徴的なスケルツォです。スケルツォの合間に同じトリオが2回現われるA-B-A-B-A形式です。この形式は第7番に引き継がれます。

### 第4楽章 Allegro ma non troppo 変口長調 2/4 拍子

第一主題は16分音符の速いパッセージによるもので、無窮動的なこの動機が楽章全体を支配しています。もちろんどのパートも難しいのですが、特にファゴットによる第一主題の再現部分は最大の難所となっています。



## 【第87回メンバー】

第1 ヴァイオリン	佐藤克哉、三瓶政一、☆時山響子、西川富之、西村 実、本山まり子
第2 ヴァイオリン	相羽あゆみ、石嶺寿子、佐野敦子、関根佳子、中村文樹、♪森 未知
ヴィオラ	柴野かおり、下山純也、♪関口孝司郎、千秋和久、山口 彰
チェロ	緒方 淳、工内智恵、寺山知宏、野村真優子、♪三次摂子
コントラバス	江川博之、♪須賀敬亮

フルート	上野京子、大平治世
オーボエ	市川亜理、山口高司
クラリネット	鈴木千暁、中嶋智子
ファゴット	越島康太郎、星野未央
ホルン	大高奈穂子、末平一俊
トランペット	鴨狩公一、栗原壮人、藺部晴信
ティンパニ	星野武徳

☆:コンサートマスター、♪:弦楽トップ

練習指揮	山上孝秋
トレーナー	戸澤哲夫(東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団コンサートマスター)



### ♪ 次回の演奏会ご案内 ♪

日時：2021年2月21日(日)午後  
場所：府中の森芸術劇場 ウィーンホール  
指揮：平川 範幸  
曲目：

ベートーヴェン：交響曲第5番 ハ短調 op.67  
シューベルト：交響曲第3番 ニ長調 D200 ほか



詳細はHP <http://www.e-dimanche.jp/> をご覧ください。

※招待券ご希望の方はアンケートにご記入いただくかHPよりお申込みください。